

賛育會ニュース

SAN-IKUKAI News



Vol. 631
2014 Winter

社会福祉法人 賛育会
広報誌



祈りの冬、力をあわせて。

クリスマス物語の

光と影

「あなたがたは、布にくるまっても飼葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つめるであろう。これがあなたがたへのしるしである。」

ルカによる福音書より
人類は常に病を抱えて生きるなかで、人間であることの深みを開墾してきました。

私達の心的世界では、「光」と「影」の世界が錯綜しています。しかし、「影」の世界に秘められた力が働く時、その世界は変容して人間に飛躍的な成長をもたらすのです。病む経験はその契機でもあるようです。

クリスマスの物語には、人の心をひきつけるものがあります。その崇高な雰囲気のおかげでしょうか。確かにそれもあるでしょう。しかし、決して幸福とは言えないイエス誕生の物語そのものが私達の心を動かすのです。

それは、クリスマスの物語の「影」の故でしょう。物語のどの場面を見ても、人生の危機で遭遇する「影」の世界が現れています。その世界が、救いの世界へと変容している。クリスマス物語の秘密がここにあります。

例えば、母マリアとその夫ヨセフ。彼らは幸福な結婚生活を夢見ていた婚約者達でした。しかし、ヨセフのあざかり知らぬところでのマリアの妊娠は

賛育会病院
チャプレン
山崎 正幸



二人を苦悩のどん底へと突き落とし、ます。イエスの誕生そのものにも「影」が付きまといまいます。身重のマリアは権力者の圧政のもとで、辛い旅を強いられ、マリアは身を置く場も与えられず、人々の交わりから排除され、イエス誕生の場は宿屋の家畜小屋でした。
しかし、ヨセフとマリアは、苦悩のどん底で、「恐れるな」との天使の語りかけを聞き、「影」を抱えた彼らの人生を受け入れて、幼な子とともに歩む決心をします。クリスマス物語の「影」は、私達が取り込むことが出来ず、あるいは拒否している私達自身の「影」の世界と交流することを私達に促してくるのです。
このようにして、「影」の只中に生まれ出たのがイエスでした。あの時だけではありません。人々の人生の「影」の只中に、いつもイエスは存在します。イエスは、私達が捨て去る「影」を負われるのです。そのイエスの姿に目が開かれる時、私達は、苦難と限界と弱さを抱えるこのあるがままの自分においてこそ「神が共にいて下さる」ことを見いだし、存在することへの勇気を与えられていくのです。
飼葉桶の幼な子を、救いの「しるし」と伝える天使の知らせを心に留める者でありたいと思います。

さまざまな施設で秋のイベントが開催されました

イベントレポートをピックアップでご紹介

清風園 「清風園秋祭り」

10月12日(日)、「清風園秋祭り」が開催されました。台風19号の接近で天気が心配でしたが、吉田施設長の「絶対晴れるから大丈夫！」という自信と、「デイサービスご利用者作製の」特大でてる坊主の御利益で当日は、なんと秋晴れ！今年度は開設50周年記念にふさわしく、新企画として、地元金井中学生による吹奏楽演奏、セミプロによるチャリティーディング、NPO法人によるチャリティーコーナーなど、より地域に密着した祭りとなりました。特に、地区の民生委員が料理して無料配布した「野口さんちのきのこ汁」は大好評でした。来園者も540名を超え、多くの方に支えられて、地域に根付いている清風園を実感できた秋祭りでした。

東京清風園 「あづまの森の秋祭り」

9月27日(土)夕方に「あづまの森の秋祭り」が開催されました。「参加型地域交流」をコンセプトに墨田区立花に移転して初の試みの企画です。立花南町会や諸団体の全面協力を得て、模擬店は焼きそばやフランクフルト、大判焼き等、多様な出店でした。開始40分ではほぼ完売の盛況に、あわてて追加の材料を購入に走るといううれしい誤算もありました。地域交流スペースでは、「おじじいバンド」の奏でる懐メロやコーラスグループの歌声、隣接する団地で活動する「立花太

鼓」の子供たちの勇壮な姿などバラエティーに富んだパフォーマンスに会場は大いに盛り上がりました。

今回の秋祭りは、地元町会をはじめとする方々の参加のもと、多くの来場者と共にすず初秋の夕べとなりました。これからもこのご縁を大切に、地域への思いを積極的に発信する施設に成長出来まますよう応援をお願いします。

豊野事業所 「第13回賛育会まつり」

今回で第13回目を迎える賛育会まつりが10月5日(日)に開催されました。当日は台風の影響により、イベントとフリーマーケットは屋内で行なうこととなりました。今年度のメインイベントでは信州の社会人お笑いプロレス「信州プロレス」のマッチが行なわれ、当日は会場に入りきらない程の観客の中、迫力のあるぶつかり合いに大歓声と笑い笑顔で会場は大いに盛り上がりました。職員の飛び入り参加では、豊野病院の宮澤診療管理部長がグレート無茶とのタッグマッチで見事勝利しました。おやき、土鍋プリン、野菜など地元商店の皆様のフリーマーケットでは大変な賑わいとなり、早いものでは1時間ほどで完売してしまうほどの大盛況でした。展示部門では職員のフォトコンテストが行われ利用者様と職員が生き生きとした表情で写っている写真が印象的でした。あいにくの雨にもかかわらず多くのご家族や地域の皆様にご来場いただき、私達の活動を知っていただく良い機会となりました。

清風園
秋祭り



野口さんちのきのこ汁



デイサービスフリーマーケット



京やプロダクションによるバンド演奏、漫才



南町会やボランティアの皆さんと職員で



大忙しの立花南町会のやきそば屋さん



バルーンアートで飾り付けられた正面玄関

あづまの
森の
秋祭り

第13回
賛育会
まつり



フォトコンテストの展示とキーホルダー作り



大盛り上がりの信州プロレス



豊野中学校吹奏楽部の演奏

韓国社会福祉法人との交流研修

賛育会では2010年より、韓国で病院や老人福祉施設などを運営している社会福祉法人蓮花村(ヨンコツマウル)との職員交流研修を行っています。今年度は10月29日から11月2日まで小堀理事長をはじめ、職員は豊野事業所から3名、東京清風園から1名、町田事業所から1名、計6名がソウル郊外の京畿道の安城市にあるパワミル療養院他、蓮花村が運営する老人福祉施設等の見学や職員との交流研修に参加しました。韓国の高齢化率は10%台ですが、これから急速に高齢化が進んでいくため、介護予防の観点から老人福祉館と呼ばれる施設で高齢者が教養・娯楽・スポーツなどを楽しむための余暇活動・生きがい支援、再就職を支援するための相談事業・職場づくりが盛んに行われていました。

研修期間中、蓮花村職員の方々の手厚い歓迎とおもてなしを受け、韓国の高齢者福祉状況について学び、意見交換を行う機会を得ました。また、韓国の文化・生活習慣を通じてさまざまな交流を図ることができました。国は異なっても高齢者福祉に携わる職員の「より良いケア」に対する想いは同じであることを実感しました。



介護、医療業界の未来 すみだ日本語教育支援の会

2004年頃から賛育会では、外国人の介護職員を採用してきました。在留資格が「日本人の配偶者等」で主にフィリピン国籍の方々です。施設の高齢者に接する態度は、とてもやさしく申し分ありません。深刻な人手不足を補う介護の担い手として期待できます。ただ日本語能力に課題があり、特に読み書きが苦手なため本当の意味でチームの一員になることが難しいのです。

そこで2008年8月から墨田区において外国人介護職員のための日本語教育支援事業を早稲田大学大学院日本語研究科宮崎研究室と区内のNPO法人「てーねんどすこい倶楽部」そして本会の介護施設の職員が連携して「すみだ日本語教育支援の会」を立ち上げました。その目的は、それぞれの専門を生かしながら、定住外国人が地域社会の一員として社会参加する上で不可欠な職場の日本語を地域で学べる仕組みを構築すること、そして地域の力で地域の介護人材を確保・養成すること、地域の問題を地域の力で解決に導くことです。

2012年3月には、私たちの

日本語教室の生徒さんが介護福祉士国家試験に見事合格しました。今年も7名の生徒さんが受験を控え、猛勉強中です。私たちの教室で学んだ外国人介護職員の皆さんが、地域の介護の現場で活躍していることを誇りに思います。そして2014年9月に開催されたアクティブ福祉in東京2014のシンポジウムにおいて「語ってもらおう！日本の介護く広がる海外からの介護人材」というテーマでシンポジストとして登壇し、日本の介護の現場の魅力を外国人の視点で次世代の若者に伝えていただきました。写真はその時の様子です。



ピックアップ 新入職員の声! Vol.04

各事業所で新入職員6ヶ月研修が行なわれました。さらに成長を重ねる新しい仲間たちの声をピックアップでご紹介。



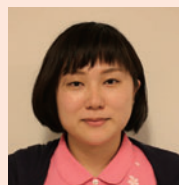
分からない事はほとんど聞いて、早く一人前の職員になりたいです。
東海清風園
仔カワヤカ
市川 綾香(介護員)



まだまだ慣れない事も多いですが、一生懸命頑張ります。
東海清風園
モリ アイコ
森下 愛子(管理栄養士)



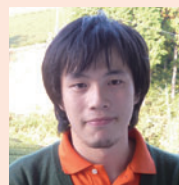
毎日学ぶことがたくさんあり、慣れない事がありますが頑張ります。
東京清風園
ワタナベ アイカ
渡邊 麻衣香(介護員)



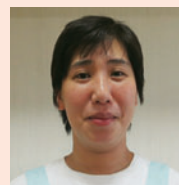
慣れない事も多く、悩むこともあります。精一杯頑張っていきたいです。
東京清風園
タムラ ナツミ
田村 菜津美(介護員)



先輩職員と協力しながら頑張っていきたいです。
東京清風園
トサヤ リホ
土佐谷 利穂(介護員)



ご利用者に安心してもらえるような介護員になれるよう頑張ります。
相良清風園
イノスエ サキ
稲益 琢也(介護員)



子どもたちと、元気いっぱい楽しく毎日を送っています。
さんい保育園清澄白河
コンノ クミコ
今野 久美子(保育主任)

賛育会チャリティーコンサート報告

10月28日(火)に第7回『賛育会チャリティーコンサート2014』がすみだトリフォニーホールにて開催され、1000名を超える来場者で当日は賑わいました。

今年度より、コンサート開催当初の趣旨に立ち返り、賛育会病院の働きを継続していくために、病院建て替えの為に開催することとなりました。多くのご賛同を得られたことに感謝を覚えつつ、地域での医療・福祉の働きを広げていけるよう努力してまいります。

ご協力いただきました多くの皆様に心よりお礼申し上げます。



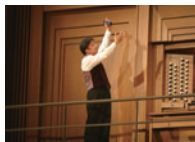
サイ・イエンガン(ソプラノ) 加藤 亜祐美(ピアノ)



伊藤 誠(ヴァイオリン) 浜中 康子(ピアノ)



出演者へご利用者から花束贈呈



水野 均(オルガン)



出演者の皆様

さんいっく保育園有明(仮称)の開設準備を進めています。

2015年4月、江東区有明に新たな保育園を開設するため開設準備室を設置して準備を進めています。オープンしますと、開設4年目になる「さんいっく保育園清澄白河」に続く2園目の保育園となります。

賛育会は大正昭和初期には既に保育や(今で言う)訪問看護のような活動に取り組み、今の社会でも必要とされる事業がこの時代から先駆的に行われてきました。

賛育会の先達の思いを今の社会的状況の中でしっかりと受け止め、子どもたちの豊かな成長を願い、ご家庭をしっかりと支えていく保育園の運営を目指していきたいと思えます。

■さんいっく保育園有明(仮称)概要
開設予定年月日:2015年4月1日
入園資格:0歳児(生後57日目を以降)から就学前までの乳幼児
保育定員数:91名

主要人事

2014年度理事会(10月7日・10月27日)において、左記の人事が決定しました。

管理職異動

2014年9月1日付

○法人事務局事務員 本田 佳津子
社会福祉法人横浜YMCA福祉会

大和YMCAライフサポートセンター相談員(地域包括担当)社会福祉士)に意向とする。
出向期間:2014年9月1日〜2017年3月31日

2014年10月1日付

○法人事務局(仮称)さんいっく保育園有明開設担当 小泉 美壽
(仮称)さんいっく保育園有明園長就任予定者とし、開設準備室長とする。

2014年10月31日付

○賛育会病院診療部長兼外科部長 織田 豊
賛育会病院診療部長を解く。

2014年11月1日付

○賛育会病院内科部長 弘田 達哉
賛育会病院診療部長兼内科部長とする。

法人・事業所行事

2014年

12月13日(土)さんいっく保育園

清澄白河 クリスマス会

2015年

2月21日(土)賛育会病院

第39回 健康講座

2月21日(土)豊野事業所 健康講座

3月21日(土)賛育会創立記念式典

賛育会ニュース 第631号 2014年冬号

編集発行人:西原 良信

発行所:社会福祉法人 賛育会

東京都墨田区太平3-17-18
電話 03-3622-7614

印刷:有エースブリント